

日刊新聞 日曜日 日休 一月十五日 日休 一月十五日 日休 一月十五日

識講座

ヘーアは毛、髪のこと、毛髪のもつれを押し、針をヘーアピンと云ふ、同じく指環で野見ふ、ペーアは髪、髪のこと、ヘーアは髪、髪のこと、ヘーアは髪、髪のこと

年償還を十ヶ年繰延べ二十五ヶ年とするもの、外規に起る針をヘーアピンと云ふ、同じく指環で野見ふ、ペーアは髪、髪のこと、ヘーアは髪、髪のこと

其の状況を研究した後更に國民高等學校に入學し一學徒として苦しく同國の實際を研鑽せられたる熱心者の人である

て材木の荷卸し作業中誤つて其の下敷きとなり頭部を重傷、應急手當に盡したが間もなく絶命した

逆行の炭車で無惨の即死 石城郡内郷村の磐城炭礦坑

扶助法の恩典に 扶けられる家族

平市内の該當者約八十戸 内五十戸に毎月一千圓

今次の支那事變は端を發した北支事變に對し不擴大を望むる邦家の意を裏切り遂に今日之慘を見るに至つたので國民を擧げて暴戻支那を徹底的に懲せんとする意氣一層熾んたるものゝが、然るに、この會てなき程の努力を見せつゝある上に軍事扶助法の改正施行による應召軍人遺家族への給付は出征者をして全く後顧の憂なきやう努められてゐるが平市の應召者中にて約八十戸ぐらゐると見られ七十戸の願出に對して既に五十戸を許可

名譽の負傷者

矢澤警中教諭貫通骨折銃創

矢澤實夫○長、警中教諭から應召した同氏は大沼郡旭村の出身で石城郡四倉町字本町の留守宅には愛子夫人がある、兩角部隊下で上海戦に活躍中頭部に裂傷を負ひる外左腕に貫通骨折銃創を負ふ、直ちに野戦病院に於て加療中だが漸次元氣回復と二週間が過ぎる見込みを去十八日夫人の許しを中へ手紙があつたので愛子夫人は勿論野中の生徒職員

が経過良好で再び第一線に起つとの手紙が實家に到着し同家では夢かよとばかり喜んでゐる

遠藤善助○長、石城郡鹿島村の出身で郡山警務署の巡査から應召したが右脚に砲弾の破片創があつた留守宅には妻正美(三三)さん長男安彦(三三)さんがあつたが夫を初め近親及び郡山警員一同は一日も早い平癒を祈つてゐる

渡邊昇○兵、石城郡磐崎村第二警長倉坑夫から應召した原籍栃木縣那須郡馬頭町出身で坂西部隊の通信班に活躍されてゐたが十一月十六日午後六時石城郡南方附近の戦で殘念ながら腹部に貫通銃創を負ひ野戦病院に收容されたが一日も早く全快再び第一線に立ち一死奉公する覚悟である

北支は申分のない天氣ですが内地はさぞかし肌身に寒さの沁みる頃と思ふ子供を丈夫に育て下さいと留守宅の妻ひで子(三〇)さんに手紙を寄せて来たのでひで子さんは愛兒信男(三)君と共に只管快癒を祈つてゐる尚ほ昇君は長倉坑探検隊中の精勤者で仲間思ひの模範坑夫であつた

鮫川堰の臨時總會 石城郡鮫川堰普通水利組合で今日二十日午前十時から臨時

非常時局と農村の 經濟狀態の實況

支那事變の爲め應召者を數へられる地方の町村に努力の大黒柱が出征した農村の經濟狀態は未だ其の反映となすべき程のものに語られてはゐないが農村金融の縮減である農銀中支店の實況を見るも全然悲觀すべき形勢はなささうで、

非常時下に於ける 農村經營講演會

石城郡農會主催の非常時下農村に於ける農村經營講演會は来る十二月六日から十四日に至る九日間左記日程で郡内各家の國デパートに遊り一百姓として同地の農家に起臥し

就職指導員の 巡回相談

縣に新設された就職指導員の石城郡巡回指導員は来る二十二日から九日間左記日程で見聞の性能検査、職業相談並びに指導の諸事ある筈だが同指導員は佐藤秀、佐藤忠の兩主事補、阿部原の三氏である

模範火災演習

消防と防火班で 平消防組と防火班の協力演習は明日二十一日午後二時から第三小学校々庭に於て行われる同演習は模範火災を起し煙夷彈を投下された假想煙は一キロ煙二回、二キロ煙二回の模範火災に對し即應消防の敏捷な演習をなす筈であるが消防組では他に演習をなすらしく同演習には多數の觀衆があるであらう

荷馬車夫の奇禍

石城郡内郷村の級字秋山荷馬車家山徳作(三三)は昨十九日午後零時四十分頃綴跡に於

助成會へ 四十圓寄附 磐城高女校友會では今二十日平市社會事業助成會へ金四十圓を寄附した

白梅便箋 忠孝便箋 文鳥便箋 名作詩箋 魁文堂 電話三三三

今般亡父の名を襲ひ與三郎と改名仕候間先代同様格別の御交誼御引立を賜度此段以紙上御挨拶申上候 敬具 昭和十二年十一月 清三事 改名 山崎與三郎

加藤政英儀去ル九月七日滿州國金河堡ニ於テ戰死仕候處十一月二十日若松市ニ於テ慰靈祭執行ノ上遺骨ハ二十一日午後二時五十分平驛着列車ニテ歸着可致候ニ付謹告候也 通前葬儀ハ十一月二十七日午後一内郷村字御殿第一小学校ニ於テ例儀ニ依リ執行セラレ 平市古銀治町松堂院に埋葬可致候 内郷村字小島 親戚總代 加藤 武雄 加藤 正保



### 甘藷の蔓返しは 大禁物

多収穫者は必ず行つてゐない新提唱  
甘藷の蔓返し作業は光線を充分にとる必要以上に養分呼吸をとどむる爲め必要であるものと昔から行はれて来たのであるが茨城縣那珂郡々農會長白土松吉氏の研究によつてこの從來の蔓返しこそ甘藷の順調なる成長をさまたげるものではなく延びては収穫の減少を来たす重大なる原因をなすと云ふ珍らしい提唱が發せられて栽培當業者の注目をひいてゐる。

甘藷の蔓返ししたるものは即ち蔓には養根があるかの如く誤認されて来た關係からこれまで必ず蔓返しの仕事をしてきたのであるが白土松吉氏の説によると同化作用を営む上に絶對的のものとされ溢りに蔓返しをすることによつて其の同化作用を阻害されることになり従つて収穫を來たすと云ふのである。

白土松吉氏は甘藷栽培に關する著書もあつたほどで輕卒な發表などする人でないのみならず斯界の權威者として知られてゐるのであるが右について語るところを上げると、

多収穫品評會に於ける成績優良者の大半と云ふものは蔓返しをしてゐないことかから見ても立派に實證される正して同化作用を営む上葉の表面が光線に當るやう安定させて置くもので溢りに蔓返しをすれば同化作用を

停止させることにならるから却つてよろしくないのである(完り)

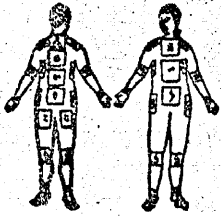
## 藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七

## 平病院

院長 醫學博士 鈴木定藏

内兒科 院長醫學博士 鈴木定藏  
小兒科 院長醫學博士 鈴木定藏  
産婦人科 部長醫學士 池谷宗三郎  
一般外科 部長醫學士 鈴木定藏  
皮膚泌尿科 部長醫學士 鈴木定藏  
レントゲン科 技師 岡田重徳  
物理療法科 技師 岡田重徳  
藥劑科 部長藥劑師 吉本孝平  
診療時間 毎日午前八時より午後九時止  
夜間診療に從はず(急患は此限にあらす)  
往診隨時、病室完備 (自炊の便あり)



山野邊藥局  
平市 五丁目角

漢方 生公堂  
本堂は漢方醫學の大家である生公堂の秘傳を繼承し、現代の生活に適合した漢方薬を開発し、その効果を著しく示す。本堂の漢方薬は、古くから知られた漢方薬の長所を繼承し、現代の生活に適合した漢方薬を開発し、その効果を著しく示す。本堂の漢方薬は、古くから知られた漢方薬の長所を繼承し、現代の生活に適合した漢方薬を開発し、その効果を著しく示す。

### 本年流行

ヘルベツト地

婦人シヨール

三八〇より一三、〇〇まで

豊富陳列

ツルヤ

平四・電一四〇

産婦人科 院長 木村寅次郎  
外科 醫學博士 内木宗八  
藥局 藥劑師 大岩俊雄  
平市新川町九一  
入院隨意 病室完備  
木村病院  
電話一六四番

和洋鋼鐵、金物問屋  
店商屋釜  
九九・九電

便利で 經濟な 日下家政婦會の 派出婦を御利用下さいませ

身元確かで品行方正ですから 何をお任せしてもご安心です  
會員(同志)の 加入を御願ひ致します  
派遣なき間 職に就き 報酬を御教し致します

日下家政婦會

會長 日下すい子  
電話七二三番

債券 公債 兩替 金融

多田井質店  
平市大工町 電話五九一番

安田系統の帝國海上

帝國海上火災保險株式會社

平代理店 關内正一  
電話一六番  
事務取扱者 阿部助次郎

産科、婦人科専門

根本醫院 (平市南町) 電話三四番

病室 入院隨時 根本庄次郎  
増築 手術室完備 根本貞雄

次 横山商店 債券部  
町間仲市平  
〇一六〇九東京管振  
番一七二話電

「看護見習募集」  
明雲堂眼科醫院 (六六九)  
平田町(三丁目裏川岸通)  
入院應需(自炊の便あり)

新時代の要求

婦科事業に等外看護婦を特設いたし 皆様の御用向へ身元確かなる婦人を 派出致します

平市南町 電三〇七  
平看護婦會

經濟的な御便 宜御用命をお 願ひ致します  
御手不足の御家庭 郵い御病人の付添 妊婦産婦の御家庭